



### ご挨拶に代えて



—阿久 悠先輩と  
時習館高校と、  
そして阿部勝年君—

同窓会長 三根 一乗

いささか旧聞に属するのですが、私の幼馴染であり洲高の同級生でもある阿部勝年君の私に宛てた手紙を紹介させていただきます。  
阿部君は伊藤忠商事時代の大半を、中東・東南アジア・中南米にて駐在勤務、国是でもあった輸出拡大・外貨獲得に寄与、併せて各地での交友関係を築き、民間外交の一翼を担って来られた由。帰国後、それらの体験を役立てる意



### ごあいさつ

校長 藤井 義一

洲本高校の同窓会員の皆様、始めまして。高坂前校長先生退職の後、四月に着任しました藤井です。百十年の伝統と元気のよい生徒に迎えられるいささか力んでいるところであります。

平素は本校教育活動へのご理解ご支援と多くのお力に感謝するとともに、今後とも温かい目で母校を見守り続けてくださいますようお願いいたします。  
さて本年十月には、創立百十年記念式典を挙行いたします。十九期生の笹野高史氏の「人と人との輪」と題した講演のほか、記念事業としては洲高新聞の復刻版を刊行することとしております。同窓会諸兄にも懐かしいあの時代、

発行所  
兵庫県立同窓会  
洲本高等学校物部2-8-5  
洲本市上野(0799)  
22-1550  
印刷 浜田タイプ

い処等々、良き事・悪しき事も法に触れない範囲でやらせて貰い、今、第二の人生を築き始めることはまあ、幸せと言うべきと独り合点しております。  
さて、洲高/時習館・選抜大会対戦の歴史に因み、阿久 悠先輩が創り、時習館OBに贈った詩と、その後の経緯が当地域紙に紹介されていきました。友人の平田氏(以下に記す記事の執筆者である平田根注記)より当日の紙面買い一読懐かし、且、貴重な内容ではないかと思われ貴兄にご紹介する次第です。機会あれば同窓会報などに活用ください。

敬具

平成十六年十二月十五日  
阿久 悠と「甲子園」  
東海日日新聞 平成十二年二月七日  
時習館高校野球部百年特集

「青春の記憶」(豊崎時習館に寄せて) 阿久 悠  
同じ記憶 同じ場所について  
同じ空を仰ぎ 同じ風にふれ  
青春という一瞬間  
すべてを凝縮した人たちがいた  
季節は過ぎて  
そのとき桜があつたかどうか  
それはもう忘れてしまっているが  
少年たちが、一つの白球を中にして  
可能な限りの力をふり絞つて  
戦つた姿を覚えて  
時代はまだ、敗戦の記憶をひそめ  
社会はまだ、幾分の混とんを残し  
夢があつたのかなつたのか  
だが、グラウンドの球児たちは  
夢があると思えた  
華々しい戦ではなかつた  
快音の数も少なかつた  
しかし、胸躍る緊張の試合といえた  
昭和二十八年春  
豊崎時習館・洲本高校  
はくは、そのとき  
アルプス・スタンドで  
少年が夢を紡ぐむく様子を見ていた  
阿久 悠と「甲子園」  
東海日日新聞 平成十二年二月七日  
時習館高校野球部百年特集

昭和二十八年春の甲子園で、捕手として活躍した菅沼光春(七回卒)は、東京六大学名門、明治大学に進んだ。フランス語の教室で偶然隣り合わせに座つた学生が時習館と対戦し、その年優勝した洲本高校OBであった。  
文学部のその学生が、後に「津軽海峡・冬景色」(北の宿村から一舟歌)など数々のヒット曲を生み、時代のヒーローとなった阿久悠であった。  
平成十一年三月、菅沼あてに大型の封筒が阿久悠から届いた。阿久悠と印刷された原稿用紙に、丁寧な文字で一篇の詩が清書され、台紙が添えられていた。  
「青春の記憶」の原本は菅沼が母校創立百十年周年記念を記念して、母校創立百十年周年記念の記念講演をお願いした阿久悠先輩と豊崎時習館高校との素晴らしい逸話として不思議な縁をこころしく思います。私個人と致しまして、こうした形で旧友阿部

勝年君のご厚意に応えることができて、母校創立百十年周年記念式典は平成十九年十月二十八日(日)午前10時から、洲本市文化体育館で開催されます。式典は学校当局の主宰で執り行われ、記念講演および祝賀会には同窓会もその運営に関わります。  
記念講演は、母校19期生の俳優笹野高史氏を講師としてお招きします。ご講演のタイトルは「人と人との輪」を予定しております。私が4月の新任部長に就任いたしました。この重要な時期に大役を仰せつかった責任の重さをひしひしと感じているところでございます。また、支部発足に際し、多大のご貢献をなされました初代支部長近藤和美氏、同事務局局長酒井克己氏をはじめ洲高3回ならびに4回卒業の先輩各位に心から敬意を表し、感謝申し上げます。  
ところで最近では、世界各地の無差別テロの多発や地球の温暖化・異常気象など一層予断を許さない状況にあり、わが国においてもいよいよ人口減少の時代に入っており、一方でモラルの退廃による不幸な経済的・社会的事件が日常茶飯事となっております。

ご挨拶  
東京支部長 杭田 保孝  
同窓会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
東京支部も発足して3年目を迎え、いよいよその礎を固める時期となりましたが、この期に初代支部長近藤和美氏がご退任になり、私が4月の新任部長に就任いたしました。この重要な時期に大役を仰せつかった責任の重さをひしひしと感じているところでございます。また、支部発足に際し、多大のご貢献をなされました初代支部長近藤和美氏、同事務局局長酒井克己氏をはじめ洲高3回ならびに4回卒業の先輩各位に心から敬意を表し、感謝申し上げます。  
ところで最近では、世界各地の無差別テロの多発や地球の温暖化・異常気象など一層予断を許さない状況にあり、わが国においてもいよいよ人口減少の時代に入っており、一方でモラルの退廃による不幸な経済的・社会的事件が日常茶飯事となっております。

あの出来事の思い出を辿るよすがにしていただけるのではないかと考えています。  
また、伝統の第三十九回選抜高等学校総合優勝を達成しました。ちなみに女子優勝は十一年連続十六回目、男子は二年連続九回目です。その勢いで、県総合体育大会でも水泳部や卓球部、ボート部、陸上競技部の近畿大会進出や女子バスケットボール部のベスト一六など存分に活躍してくれました。全国インターハイには、陸上部から県優勝、近畿2位を残した橋形君が3000メートル障害で出場をします。また、男子ビーチバレーの全国大会出場も決まりました。

大きな期待が集まる野球部も夏の大会を終え、選手たちは目標をしっかりと見据えてはやる心で秋の大会に向け、スタートをきりました。新メンバーに交代した各部門も新たな課題に心をひとつにして取り組んでいます。  
体育祭と分離した春の文化祭も三回目を迎え、内容を一新させ、生徒会や文化部の活躍・充実振りはもとより、一・二年生の展示・舞台の発表も一段と工夫が加えられ見もの心をつつ文化祭が展開されました。放送部の活躍とともに、特に書道部や美術部の展示作品のレベルの高さ、音楽部のハーモニ、邦楽部・吹奏楽部そしてダンス同好会のステージのすばらしさに圧倒されました。それ以外の多くの文化部の平素の活動や意欲を実感できたことは私としては大きな喜びでした。今後とのようには、洲高らしい文化祭に磨きがかかるのか楽しみでもあり、知恵を出し合いたいところですね。

昨年十八年度は、大学等進学状況でも七十名が国立に合格するなど近年にない成果を挙げています。学力向上ステップアップハイスクール推進事業の指定を受け、学力増強の方向をしっかりと見据えている成果の一端と喜んでいます。今後、自主自立の校風を大切にしながら進路希望の実現の可能性を拡大し、次のステップに進んでいくことができる力を養うべく、一層充実した教育活動を積み重ねる所存です。

洲高が洲高であり続けるために在校生の心に洲高生である誇りと自負が必要であると考えます。折を捕らえ機会を見て、全教職員で洲高生であることを価値があるのではなく、洲高生としての行動とが大事である、と自覚させ続けたいと思います。  
今後とも後輩たちの姿と母校の教育活動を支援させていただきます。お願いして、着任のご挨拶とします。

追記  
本稿執筆後、去る八月一日阿久悠氏がご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成十九年度 同窓会総会のご案内  
左記により、今年度の同窓会総会を開催いたします。

創立百十年周年記念式典のご案内  
日時 平成十九年十月二十八日(日)  
受付 午前九時三十分  
開式 午前十時  
会場 洲本市文化体育館  
洲本市塩屋一丁目一番十七号  
TEL 0799-251-3333

次 第一節 記念式典  
第二節 記念講演  
講師 笹野高史(高十九期生)  
演題 「人と人との輪」

平成十八年度事業報告並びに会計報告  
平成十九年度事業計画並びに予算案  
その他  
セミナー室  
あやぐもホール  
議 題(予定)

\*今年度は、十月に周年事業があるため、講演は実施いたしません。

また、会員相互の親睦、故郷淡路そして兵庫県の諸団体との交流など、どのように舵取りをしていくべきかが問われております。

こうした環境の中、微力ではございますが、新執行部の総力を結集して東京支部の基盤固めに精進いたす所存でございますので、関係各位には絶大な御力添えを賜りますようお願い申し上げます。

そして、洲高同窓会・洲本高校の充実の発展と関係各位のご多幸と一層のご活躍を心からお祈り申し上げますとご挨拶といたします。

また、会員相互の親睦を一層深めながら、淡路更には兵庫県と東京の行政諸団体との交流の門戸を開くことができたのも偏に皆様のご支援ご協力のおかげと感謝申し上げます。

前東京支部長 近藤和夫  
同窓会の皆様にはますますご清栄の事とお喜び申し上げます。平素は東京支部になにかとご支援ご協力を戴き厚くお礼を申し上げます。

そしてこの度は、同窓会創立百周年を迎えることとなり心からお祝い申し上げます。



近藤和夫

同窓会員の皆様、いかがお過ごしですか。平素は、本校諸活動にご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、今秋十月二十八日には、いよいよ創立百周年記念式典が行なわれます。学校をあげて、準備に取りかかっています。特に、準

に盛り上がり、三十年前を思い出しながら、感慨深げに、校歌・応援歌を歌いました。記念式典の際には、生徒達は、誇りを持って、

い申し上げます。さて私こと、去る3月末日をもちまして任期満了となり洲本高校同窓会東京支部長を退任致しました。願ひますと、少子高齢化等最近の社会情勢に鑑み、旧洲本中学先輩の方々のご示唆と多くの地元会員のご賛同を戴き東京支部が発足致しましたのは一昨年の十一月でした。



基礎・基本の定着と豊かな人間性の育成をめざして

基礎・基本の定着と豊かな人間性の育成をめざして

定時制課程 教頭 武内幸則

この度、定時制担当教頭として着任致しました武内と申します。淡路地区の勤務は初めてですが、一日も早く慣れ本校発展のため頑張りたいと思っておりますのでよろしくお祈り致します。

さて、定時制課程の在籍数は、四月に四〇名の新入生を迎え、一年四二名、二年生三四名、三年生二二名、四年生二九名の計一二七名で定着しました。多くの定時制高校が定員を充足できない中で本校は毎年定員を充足し、生徒数も安定して確保できております。

また、アルバイト等、何らかの仕事を持っている生徒は七〇%を超え昼間は仕事、夜は学校という生活サイクルが確立されてきております。一方、最近の入学生の中には、いじめや不登校等心の問題をかかえている生徒も多数ありこのような生徒が楽しく充実した高校生活を送れるよう学校行事や授業等にも工夫を凝らしております。

次に、定時制課程の本年度の目標と、学校行事の一部を紹介いたします。

【定時制の教育目標】  
①基礎・基本の定着と個性や創造性を伸ばす指導の充実  
②豊かな人間性の育成  
③生涯活動の基礎の確立  
教育目標は以上の三点ですが、

これらの目標を達成するために個別指導や少人数指導を実施し、基礎・基本の定着を目指しております。また、「地域貢献活動」などで地域住民との交流を通じて地域と一体となり共に生きる社会づくりに目指した福祉の心と公共のために尽くす心の育成を図り、「地域に信頼される定時制」を目指しております。

【定時制の行事】  
①陶芸教室・グラウンドゴルフ・新スポーツ  
これは、地域との交流を図るため老人会の人々を招き生徒と一緒に陶芸・グラウンドゴルフ・ボウリング・輪投げ等を年一回実施しております。

②交通安全実技教室  
毎年淡陽自動車教習所の協力を得て、生徒の交通安全教室の一環として、自動車・原動機付自転車・自転車・安全走行のための常識テスト・交通安全標語コンテストの五部門に分かれて実技コンテストを行っています。

③老人福祉センター訪問  
毎年有志生徒が、「由良総合福祉センター」を訪問し、歌・手品・ビンゴゲームなどを行って交流を図っています。

「校歌を声高らかに歌いましょう」

全日制課程 教頭 不動亨

堂々と、胸を張って、文化体育館いっっぱいに響き渡る声で歌ってほしいと思います。それでは、本校の現状と課題について述べさせていただきます。本校の教育目標として、まず第一に、「確かな学力」の定着と、礼儀正しく、良識ある洲生の育成をめざしています。次に、教職員の高質向上を図り、地域から一層信頼される学校づくりを推進します。この目標を達成するため、以下のことから重点的に取り組んでいます。

- (一)七時間目の授業の実施 (淡路で最初に導入)
- (二)リニューアルされた図書館の積極的な利用
- (三)授業公開や授業研修会を通じての実践的指導力の向上
- (四)シラバスによるガイダンス機能の充実
- (五)生徒による授業評価を実施し、授業改善に生かす
- (六)生徒会諸活動を通じて、自治の精神を涵養する
- (七)地域活動に積極的に参加し、奉仕の精神を学ぶ
- (八)強い心とたくましさで、文武両道をめざす

- 【特色ある活動】
- 1. 学力向上ステップアップハイスクール事業 (三年計画の二年目)
- 2. デジタル情報等の共有化促進事業 (三年計画の二年目)
- 3. これらのきめ細かい取り組みの成果が徐々に奏功し、別記の進捗結果になってあらわれています。

【部活動】

昨年十月に、兵庫県で実施されたのじぎく兵庫県体陸上競技で、女子四×100mリレーに出場した本校の部が、大会新で優勝に貢献しました。次に男子の駅伝チームが、昨秋五年連続で近畿大会に出場しました。さらに、今春の近畿大会で、男子三千m障害で、橋形が二位に入賞しました。野球部は、昨夏の選手権、秋季大会、今春の県大会でベスト十六に入りました。文化部では、放送部が、昨年度

【部活動】

の全国高等学校放送コンテスト「テレビドキュメント部門」で、二位に入賞しました。本年は、創立百周年の節目の年にあたります。従来にもまして充実した年になることを期待いたします。記念式典で多くの会員の方々にお願いできることを楽しみにしております。

定時制創立記念式

定時制創立記念式が五月十日、午後六時から集会所で挙行されました。式に続き、定時制同窓会長の大難辰男さんが「仕事と後学」と題した記念講演をして下さいました。

定時制第八回卒業生の大難辰男さんは、卒業後、弟さんと一緒に鉄工所を起し、その会社を経営され、現在も会長として活躍されております。

講演では、「二本の矢」の話を交えながら、定時制に通うきっかけになった話や、ある有名な施設の駐車場を手がけた話などをして下さいました。



以上定時制の紹介をしましたが、今後とも会員の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

五月十日(木)



祝 定時制創立記念式

優秀な資格・成績を獲得した定通高校生徒

平成18年度第41回全国高等学校定時制通信陸上競技大会  
女子円盤投げ 23m03 7位入賞  
女子4×100m(兵庫県選抜チーム) 2位入賞

第1学年 惣田智子

# 洲中三十九期 同窓会

平成十八年十月十五日、久方ぶりに洲本中学第三十九期生の同窓会を開いた。同級生は八十四才になる。果たして何名来てくれるか、返信用の用紙と切手を入れて案内した。対象人員は三十一名であった。久しぶりに同窓会でもう仕舞になるのではと考へて、出席者を知るに足らぬと依頼し、出席者の返事は十一名、欠席の返事は二十名であった。外出は無理である人が八名、残りも足が悪かったり、内臓の疾病で行けないというのである。

この歳になればそれぞれ何かの病氣をもっており、どこも悪いとこはないという人は本当に希である。それでもまだ十一名元氣な人がそろったというは上出来である。

会場はホテルアレックス、八階

のながめがよいところだ。はじめに例の通り「校歌」の齊唱をした。天地の誠こりてなる……である昔の歌で、守れ洲中の健勇児である。これで儀式は終つて、後は話し合いが一時開程つづいたが、幹事の方から提案があった。第一回、第二回とつた物故者の法要である。第二回は太平洋戦争で戦死された方二十八名の英霊他。そして、九期生物故者の霊をまつつてくれた。今も高野山の西南院には、三十九期生物故者の位牌がまつられていた。

この度合記される物故者は十名である。西南院は、先の住転で高野山金剛峯寺の管長をつとめた和田有玄師が入っているわけですから

# 淡路高女美德会の集い

戦争真最中の昭和二十年、学徒動員現地で卒業式を迎えた私達。終戦を迎え戦後の移りゆく流れと共に、忍耐一筋で生き抜いた苦勞の程が何える互の顔でもどこかに青春の面影が、ほのかに残されている事がうれしかった。

三熊山、大浜、松林の潮騒。右に目を転じると、ありし日の母校が思われる山手の町並……と、海月館七階からの眺望は、次々と私達に若き日を思いおこさせてくれる。昔懐かしい三熊山や洲本市街地をバスで巡る下



ライブに始まって、ロビーで待つ当番(洲本市在住)との今日最初の出会い、記念撮影と楽しげな声とが交わり、時間と共に女生生の頃の気持ちがよみがえり昔の笑顔の花が咲く。何とか楽しく心に残る集いとなりますようにと念じていたのにそんな心配はどこへやら、打ち解けて語り合う温い会になつていった。

八十路の坂はとても険しく、足腰の痛み、歩行困難、家族の介護等、様々な事情をかかえながらも再会を喜び合う友の顔は美しく輝いてみえた。今も一泊して帰られる方が何人かあり、市内の人も交えての楽しい語らいの夜が更けていく一日となつた。

風薫る四月二十二日はこうして終わった。健康で美しく老いたいものだと思つて来たその老いが、今、自分達であると思つと感慨一しおである。会に参加出来た幸せに感謝しつつ互の健康を念じてお別れとなった。

(淡路高女三十九回生世話係)

# 第七回洲高併中(二回生)同窓会

「追憶：余生を愉しむ」をテーマに

緑濃き5月25日、別世界の空気が流れる眺望絶佳の神戸の北野クラフ・ソラで、男女合わせて百十四名の参加を得て私たちの併中同窓会が開かれました。

国民学校と呼ばれた小学校の時代に軍国主義思想のなかで神の国日本の教育を受けた私たちは終戦の翌年にそれぞれ旧制の洲本中学と淡路高女に入學しました。そして戦後民主主義のもと22年4月に制定された新学制により23年9月に二校は合併し私たちは新制の洲本高校併設中学三年生となりました。

復興の光を感じた明るい時代の訪れではありましたが、純粋で感性が育まれた最後の年頃であり、突然の男女共学に胸がときめきました。

そして24年卒業して以来58年を経過しました。高校進学は洲本高校にそのまま進学した人もいましたが学区制のため散りぢりになったので、東の間の出会いの後の惜別の想いをかき立てたようでした。私たちは今73、4歳。老境の真つ只中にあります。

そこで今回の同窓会開催に当たり当番の5組有志が集まり、コンセプトを「追憶：余生を愉しむ」と決めました。そして神戸にお住



いの吉田波江様のご紹介によりソブラノ歌手足立輝代先生にお願いして日本の心のある叙情歌を聴きかつ先生の指導のもとに皆で合唱することとしました。皆で歌った歌は「花」「追憶」「青い山脈」と故郷でした。感慨はひとしおで、歌が終わるころ皆の顔は輝いてきたように見えました。

年を重ねてきた今こそ「二期一会」を噛み締め、励まし合い余生を愉しく生きて行こうと誓い合いました。

まさに併中は私たちの青春でした。(2007.6.3 魚谷記)

祝！65歳突破記念同窓会と銘打つての集いを平成18年11月11日(土)に開きました。せんだぶりの地元開催で、今回はがらりと趣向を変え、バスを利用しての修学旅行気分を再現してみました。世話係として岡本、沢井、仲野、新見、神田、島田が担当。

ワンダース同窓会 IN バスのしおり

(1)ようこそ我が故郷へ!! 11:00  
 (2)母校の今 集合写真 奥野先生  
 チョットだけ授業 鈴木先生

# 戌亥会開催

去る11月14日初冬の快晴に恵まれ、5年ぶりに故郷淡路島にて開催。洲本市の「夢泉景」にて53年前の昔に振り返る懐情を暖めた。初老、ミレニアム、古希を祝う……等々、その時々々の節目を表す「ニックネーム」を付けて開催されてきたが、今回についてはこれと言ったポイントもなく(まさかこのじきく兵庫団体と付けるわけにも行かず?)大半が戌年と亥年の生まれから見出しの戌亥会と命名、65名の「元」美少女・美少年が出席。

欠席者の理由も親の介護等から本人の体調不良に変わってきており、寄る年波を感じさせられた同期会でもあった。

午前11時からの開催も午後4時前までの間、時間を忘れて語り過ごし、次回開催地を再び神戸地区と決定、名残を惜しみながら会場をあとにした。

遠路ご参加頂いた仲間たちに

前記で記念撮影、ソテツの木は昔のままでした。同窓会館にちよつとだけ授業を再現、始業ベル(鐘)を合図にししばらくは学習時間。その教室にあやしげな制服姿の女生徒4名(岡本、仲野、新見、的崎)男子学生(炬口)が乱入してきて大盛り上がり。まだまだ若い18歳モード全開のワンシーンもありました。

バスに乗車し一路展望レストランうずしお「大鳴門橋記念館」へ。レストランから望む橋を見ながら昼食に舌鼓をうち、バスでウェルネスパーク五色へ。

雨もすつかりがあり、ひろびろとした芝生の上で島田さんの指導で全員フットクダンスに興じました。みんなで心をつなげればこられた楽しさ倍増、奥野先生は一番嬉しそう。

帰りのバスの中では「淡路弁・方言クイズ」や初窓談義、好きなタレント発表もあり、動く教室内

はハイトでした。最後に校歌、「ふるさと」「今日の日」はさきよりなら「を大合唱して無事帰着となりました。次回は平成21年です。みなさんお元気で。

ワンダース会 HPアドレス  
<http://www1.sanoto.gr.jp/cool2014/sakou12>







## 平成18年度 収支決算書

総収入額	¥ 12,304,977
総支出額	¥ 7,833,432
残額	¥ 4,471,545

## 一般会計

## 1. 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
前年度繰越金	3,479,769	3,479,769	0	
入会金	554,000	554,000	0	全日制 240名 定時制 37名
会費	6,778,000	6,678,178	△99,822	全日制 707名 2,828,000 定時制 25名 300,000 終身会費・3年会費 3,550,178 総合計 6,678,178
雑収入	188,231	1,593,030	1,404,799	会報広告料・預金利息他・講師寄付金・等 サウトより会員名簿作成費返戻金
合計	11,000,000	12,304,977	1,304,977	

## 2. 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
事業費	7,497,652	5,959,720	1,537,932	
内 総会費	800,000	685,950	114,050	講師謝金・交通・会場費等
内 会報	3,500,000	2,511,893	988,107	印刷代金・郵送費等
内 慶弔費	200,000	110,940	89,060	会員・生徒・職員慶弔費
内 部活動振興費	700,000	592,800	107,200	近畿・全国大会・助成金等
内 資料整備費	300,000	199,971	100,029	資料館整備費・ダスキン・栄光への記録・クーラー取り付け等
内 定時制活動費	200,000	200,000	0	講師謝金・交通費・定時制歳時記等

兵庫県立洲本高等学校同窓会・平成19年3月31日現在

(単位:円)

## 2. 支出の部

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
内 卒業記念品	197,652	197,652	0	卒業証書ホルダー
内 C D制作費	0	0	0	校歌CD制作費 3年に1回制作(入学生に贈呈)
内 期同窓会通信費	500,000	413,660	86,340	同期会通信費(期の同窓会通信費)
内 報償費	200,000	200,000	0	お琴の先生謝礼金等
内 支部活動費	500,000	456,854	43,146	同窓会支部へ
内 ホームページ委員会	300,000	300,000	0	洲高同窓会ホームページ作成費用
内 その他	100,000	90,000	10,000	全日制・定時制/創立記念講師謝金・交通費・等
内 会議費	350,000	131,100	218,900	役員・理事会等費用
内 事務費	740,000	680,572	59,428	
内 通信費	30,000	29,165	835	切手・葉書・電話費等
内 手当	560,000	560,000	0	事務職員手当
内 事務用品	100,000	41,407	68,593	パソコン用品・印刷用紙・事務用品・等
内 職員退職金引当金	50,000	50,000	0	事務職員退職金積み立て
特別事業基金	0	0	0	
国際交流基金	0	0	0	
施設・設備費	100,000	0	100,000	
雑費	100,000	62,040	37,960	職員出張等・邦楽鑑賞会場費
110周年特別記念事業基金	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	1,212,348	0	1,212,348	
合計	11,000,000	7,833,432	3,166,568	

上記の出納を検査し、正当かつ正確であることを認めます。

平成19年5月18日

監事 坪内隆佳 沖田みどり